

日医発第 001400 号 (生教)  
2022 年 10 月 17 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会  
会長 松本 吉郎  
(公印省略)

第 31 回日本医学会総会 登録推進活動のお願い  
(早期事前参加登録) について

平素より、本会の事業推進につきましては、ご尽力賜わり深く感謝いたします。

来る 2023 年 4 月 21 日 (金) ~ 23 日 (日) の 3 日間、第 31 回日本医学会総会が、東京国際フォーラムを中心として開催されます。登録推進に関しては貴会登録推進委員を中心にご協力をいただいております、深く感謝申し上げる次第です。

さて、早期に登録をすると登録料が割安となる「早期事前参加登録」の期間が本年 10 月 31 日までとなっております。当日参加登録費より 10,000 円割引で登録ができますので、是非この機会に貴会から一人でも多くの会員が登録されますよう下記要領をご周知方よろしくお願いたします。

記

第 31 回日本医学会総会 事前参加登録 URL  
<https://isoukai2023.jp/registration/index.html>

登録料

早期事前参加登録 (~10/31 まで)	25,000 円
事前登録 (11/1~2023.4/7 まで)	30,000 円
当日登録 (2023.4/21~4/23 まで)	35,000 円

添付文書

第 31 回日本医学会総会 登録推進活動のお願い (文書)  
登録推進リーフレット  
都道府県医師会登録数(2022.10.7 現在)

本件に関する担当：日本医学会  
事務局 長門宏子  
03-3946-2121 (内 2041)  
[hnagato@po.med.or.jp](mailto:hnagato@po.med.or.jp)



31 医総会第 541 号

2022年9月吉日

日本医師会長

松本 吉郎 先生 御侍史

第31回日本医学会総会

会 頭 春日 雅

準備委員長 門 脇



第31回日本医学会総会

登録推進活動のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より「第31回日本医学会総会」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本総会の開催まで半年を切るところとなり、我々関係者一同鋭意その準備を進めております。

さて、学術集会の事前参加登録を2022年2月1日（火）から開始しており、現在まで約5,000人の方に登録いただいておりますが、目標とする3.5万人の達成には厳しい状況にあります。

これまで、各都道府県医師会より登録推進委員をご推薦いただいておりますが、尚一層活動をお願いしなければいけない状況であります。

なお、別添の登録推進リーフレットにありますように、来月10月31日（月）までを「早期事前参加登録」として割安でご登録いただける特別期間としておりますので、大変身勝手なお願いで誠に恐縮ではございますが、会長より各都道府県医師会長に、登録推進リーフレットのご案内と合わせ、本総会への登録推進の呼びかけと現在の登録数の通達をしていただきますようご依頼申し上げます。登録数につきましては、別添をご高覧ください。

実りある総会となりますよう関係者一同尽力する所存でございますので、今後ともご支援の程重ねてお願い申し上げます。

末筆ではありますが、先生の益々のご活躍と貴会の益々のご発展を祈念申し上げます。

謹白

記

- ・登録推進リーフレット
- ・都道府県別 登録数
- ・都道府県医師会 登録推進委員

以上



### 登録委員長ご挨拶



**第31回日本医学学会総会 登録委員会  
委員長 國土 典宏**  
国立国際医療研究センター 理事長

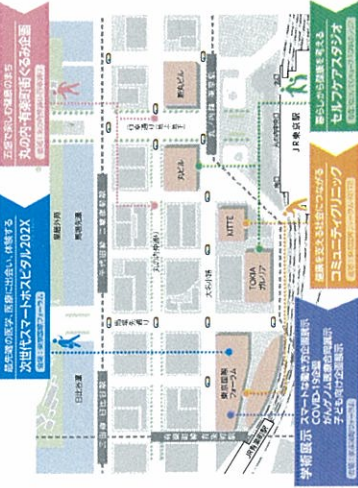
2023年4月に東京で開催される第31回日本医学学会総会の開催に向けて、組織委員会はもとより、都内大学・国立研究開発法人・主要病院等が一丸となり準備を進めております。

メインテーマを「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」として、様々な分野の医学・医療の研究開発とWEB配信を併用したハイブリッド方式で開催する予定です。  
また、丸の内・有楽町エリアで開催する博覧会では「みんなが健康 みんなの医療 みんなが長寿」をテーマとし、多くの市民の方々に楽しみながら最新の医療に接し、健康について考えていただけるような展示も企画しております。  
他にも、本総会では、より多くの皆様に参加いただけるよう、様々な企画や、新たな参加登録区分を考案しました。特にUnder 40、Over 75、団体登録引など様々な割引プランを用意しています。多くの皆様方にご参加賜りますようお願い申し上げます。

### 学術展示・博覧会



第31回日本医学学会総会では、従来のような大規模の展示会場での開催ではなく、東京駅周辺の丸の内・有楽町エリアにおいて、まとまりと一体となった博覧会の実現を目指します。



### 取得可能な単位について

単位の取得については以下の通りです。  
詳しくはWEBサイトの「取得可能な単位について」でご案内しております。

単 位	取得方法 (WEB配信)
日本医学学会分科会 研修単位 (93学点)	○ (R1)
日本医師会認定産業医制度 産業医学生産研修単位	○ (R2)
日本医師会認定産業医制度 産科入部入部研修単位	○
日医かかりつけ医臨床研修制度 応用研修単位	○
日本医師会生涯教育制度 学習単位	○ (R2)
日本専門医機構専門医 共通講習 (感染対策、医療安全、医療倫理)	○ (R2)
協力機関 新・日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会	○ (R2)
協力機関 新・日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会、日本産科婦人科学会	○ (R2)

※1 一部の分科会においては、WEB参加による単位については、該当する単位はございません。  
※2 全国各地に指定会場を設けて、指定された会場で該当プログラムを視聴した場合は単位取得が可能となります。対象セッション、視聴会場の詳細は、今後WEBサイトにのご案内いたします。(2022年11月予約受付開始予定)

### 開催形式について

第31回日本医学学会総会は、現地開催に加え、WEB配信(LIVE配信およびオンデマンド配信)を組み合わせたハイブリッド開催を進めております。

- 参加方法および参加登録費について
  - ・現地参加の場合は、WEB参加も可能です。
  - ・また、現地参加が中心の場合は、WEBのみでもご参加いただけます。
  - ・大学院生およびメディカルスタッフでWEB参加のみにてご登録いただいた場合は、現地参加いただけません。

### ライブ配信プログラムについて

LIVE配信：現地開催と同時刻に、現地で開催中のプログラムを生中継します。  
オンデマンド配信：現地開催終了後に、現地で収録したプログラムを録画放送します。  
オンデマンド配信は、お好きな時間に、何度でも視聴可能です。  
(オンデマンド配信期間は2023年5月～7月頃を予定しています)

LIVE配信およびオンデマンド配信については、WEBサイトにのご案内いたします。

【事務局】〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院 中央診療棟2(8F)  
TEL 03-5800-8971 FAX 03-5800-6412 E-mail office@isoukai2023.jp

<https://isoukai2023.jp/>

早期事前参加登録  
を切望!



# 第31回 日本医学学会総会 2023東京

ビッグデータが拓く未来の医学と医療  
～豊かな人生100年時代を求めて～

- 会 期  
(学術集会) 2023年4月21日(金)～23日(日)  
(学術展示) 2023年4月20日(木)～23日(日)  
(博覧会) 2023年4月15日(土)～23日(日)

- 会 場  
東京国際フォーラム および 丸の内・有楽町エリア

- 会 員  
春日 雅人 朝日生命成人病研究所 所長  
国立国際医療研究センター 名譽理事長

開催形式  
現地開催+WEB配信 (LIVE配信およびオンデマンド配信)

早期事前参加登録受付中  
2022年10月31日(月)まで

<https://isoukai2023.jp/>  
事前参加登録はこちらから

### ご挨拶



**第31回日本医学学会総会  
委員 春日 雅人**  
朝日生命成人病研究所 所長  
国立国際医療研究センター 名譽理事長

第31回日本医学学会総会を「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」のメインテーマの下に、2023年4月に東京で開催致します。

日本医学学会総会では、ポストコロナと少子超高齢社会という状況を踏まえ、多くの医療関係者が学術集会や学術展示を通じて、医学・医療の最先端を学ぶとともにその全体像を俯瞰し豊かな人生100年時代を目指す医療について考える機会を提供したいと考えています。その際、ビッグデータに体现されるデジタル革命、すなわちAI、IoT、ICT、ロボティクスなどの技術革新がどのようなスピード感でどのように医学・医療を変えていくかという点について認識を共有することが出来たらと思います。

本総会では、学術集会、学術展示ならびに博覧会(市民展示)の全てを東京国際フォーラムを中心とした丸の内・有楽町エリアで開催する予定にしております。是非、会場に足を運んで頂き、久しぶりに東京で開催される医学学会総会をじっくり楽しみ、会場で開けたらと思います。残念ながら御来場できない場合にも、講演ならびに展示をWEB配信致しますので、日本のみならず世界各地からのご参加が可能です。

この機会が一人でも多くの皆様と未来の医学医療について共に考える機会になることを先祈っております。

2022年9月

シンボルマークについて



無限(インフィニティ)の形状を用い持続可能な社会を表しています。  
全体的な緑のカラー＝安心、意気、意気  
● 緑＝健康 ● 赤＝医療 ● 青＝テクノロジー  
● 黄＝学術 ● 白＝医療関係者  
● 黒＝医療 ● 赤＝医療関係者  
矢印の形状＝進化  
開催登録番号446867号



学術講演 プログラム案

**特別講演**

春日 雅人 (第31回日本疫学会総会 会頭)	尾身 茂 (公益財団法人 経後予防衛生 理事長)	井上 雅司 (東京都医師会 会長)
松本 吉郎 (日本疫学会 会長)	津田 謙一 (京都大学IPS細胞研究所 名誉所長・教授)	住友 寛人 (日本歯科医学協会 会長)
山守 守人 (日本疫学会 会長)	Carl-Henrik Heldin (ノーベル賞 理事長)	福井トシ子 (日本看護協会 会長)
浅川 智恵子 (東京工業大学 栄誉教授)	堀 薫郎 (日本歯科医師会 会長)	山本 信夫 (日本薬剤師会 会長)
大隅 真典		武田 義生 (日本病院薬剤師会 会長)

- 会頭特別企画**
- ビッグデータがどのように医療・医学を変えるか
  - COVID-19に世界はどう対応したのか？ どう対応するのか？
  - COVID-19に日本はどう対応したのか？ どう対応するのか？
  - ヒトが分子生物学が教えてくれるもの、一次世代が分子生物学の構築に向けて

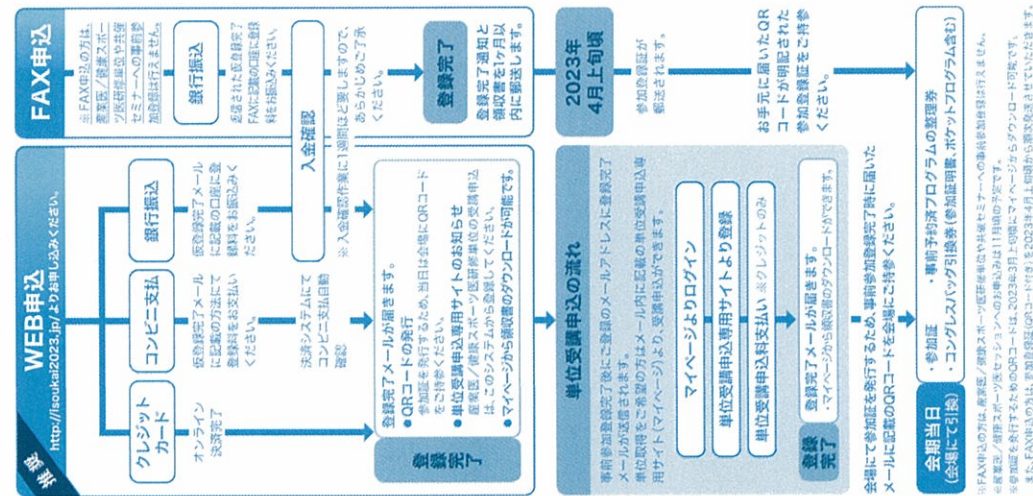
- 注1. ビッグデータがもたらす医学・医療の変化**
- リアルワールドデータを用いた臨床研究・疫学研究
  - AIが変える医療研究
  - デジタルヘルスで身体・病態を理解する
  - 個別化ビッグデータは医学に何をもたらすか？
  - ビッグデータとAIを活用したQOLの向上と健康寿命の延伸
  - ゲノム医療がもたらす未来

- 注2. 革新的医療技術の最前線**
- 人工組織、オルガノイド、細胞エンジニアリングの医療応用
  - 臓器代替技術の現状と新展開
  - 分子標的治療の現状と未来
  - がんの予防・免疫細胞治療
  - 脳情報の解読に基づく脳神経疾患の治療戦略
  - 免疫学が変えた医療
  - 多臓器ネットワークの理解に基づく医療応用
  - 生体感測ネットワークの医学・医療への応用
  - 生体感測ネットワークの理解に基づく医療応用
  - トランスポーター阻害→生体感測から治療へ
  - 膵内細胞から見た新たな糖尿病と医療
  - 生体感測阻害と不妊症・不妊症治療の現在と未来
  - 臓器に対する遺伝子治療の推進
  - 工学的センシング技術駆使した新たなバイオマーカーの開発
  - 未来の手術器具・医療機器、ロボットアススタイン
  - 遠隔診断・モニタリングの実現に向けた医工連携技術
  - liquid biopsyがもたらす可能性と課題

- 注4. 持続可能な新しい医療システムと人材育成**
- 持続可能な開発目標(SDGs)とグローバルヘルス
  - 医療人の働き方に関する課題と対策
  - 医療人の教育の現状と今後の在り方
  - 医師・介護の連携・政策的課題の改善に向けて
  - 医工連携、患者に向けた教育改善・環境整備
  - 今日の臨床・研究におけるELS(Ethical, Legal and Social Issues)
  - 安全への先行的アプローチ

- ダイバーシティ推進委員会・U40委員会企画**
- 男性医師の育児休業の在り方〜男性医師は取得すべき？
  - 各大学・地域におけるダイバーシティの取り組み
  - 各学会におけるダイバーシティの取り組み
  - 日本学術会議の提議から、将来に向けた医学研究評価のあり方について考える
  - デジタルヘルスケア(注)に治療アプリが活躍にもたらす役割
  - それぞれ最前線でCOVID-19と戦った先生方に関し、次世代の医学研究に向けて

参加登録の流れ



参加登録料

**参加登録料/期間**

参加登録区分	参加方法	参加期間	参加登録料	当日参加登録料
医師・歯科医師・研究者	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	30,000円	35,000円
Over75 (医師・歯科医師・研究者)	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	20,000円	25,000円
Under40 (医師・歯科医師・研究者)	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	20,000円	25,000円
医療関係団体(行政・企業)	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	30,000円	35,000円
大学生(医師・歯科医師)	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	10,000円	15,000円
医師・歯科医師	WEB参加のみ	2022/11/1 ~ 2023/4/7	7,000円	10,000円
メディア/スタッフ	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	5,000円	8,000円
看護系/薬剤師/放射線技師/臨床検査技師/その他	WEB参加のみ	2022/11/1 ~ 2023/4/7	3,000円	6,000円
病棟看護/管理関係者/その他医療従事者	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	2,000円	3,000円
大学生(医師・歯科医師を除く)	WEB参加のみ	2022/11/1 ~ 2023/4/7	1,000円	2,000円
学部学生(※2)	現地+WEB参加	2022/11/1 ~ 2023/4/7	無料	無料

事前参加登録者の特典として、事前ウェビナー等の各種企画にご参加いただけます。

割引プラン

- ※1 団体登録割引: 11名の登録につき1名無料となります。
- 詳しくはWEBサイトをご覧ください。
- ※2 学部学生もWEBからの事前参加登録が必要となります。
- 看護学部等、医学部以外の医療系学生も参加可能です。
- ※3 同伴者(医療従事者以外の家族)の登録はございません。

キャンセルポリシー

- 参加登録をキャンセルされた場合でも、参加登録料は返金いたしません。
- 二重登録の場合でも返金できませんので、ご注意ください。
- お支払期限まで入金確認できない場合は、ご登録をキャンセルさせていただきます。
- ・住所やご所属先の変更、ご登録された内容に変更がある場合は、登録者リスト列にメールまたはFAXにてご連絡ください。
- お電話による変更は受付いたしかねます。



## 都道府県別登録人数内訳

名	2023東京 目標人数 (大学含む)	2022年 10月7日 現在	達成率
北海道	600	79	13%
青森県	104	12	12%
岩手県	136	57	42%
宮城県	281	82	29%
秋田県	130	18	14%
山形県	131	17	13%
福島県	221	25	11%
東京都	13,000	1,960	15%
神奈川県	1,800	249	14%
埼玉県	1,000	181	18%
千葉県	700	281	40%
茨城県	200	57	29%
栃木県	840	152	18%
群馬県	266	41	15%
山梨県	250	17	7%
長野県	170	36	21%
新潟県	284	72	25%
富山県	105	24	23%
石川県	120	47	39%
福井県	91	22	24%
岐阜県	500	54	11%
静岡県	500	114	23%
愛知県	1,500	218	15%
三重県	500	56	11%

2022年10月7日現在

名	2023東京 目標人数 (大学含む)	2022年 10月7日 現在	達成率
滋賀県	150	35	23%
京都府	600	75	13%
大阪府	1,200	325	27%
兵庫県	600	141	24%
奈良県	170	27	16%
和歌山県	150	26	17%
鳥取県	108	12	11%
島根県	148	21	14%
岡山県	399	40	10%
広島県	508	58	11%
山口県	184	34	18%
徳島県	127	10	8%
香川県	259	27	10%
愛媛県	259	31	12%
高知県	108	19	18%
福岡県	900	121	13%
佐賀県	120	21	18%
長崎県	170	39	23%
熊本県	180	17	9%
大分県	150	32	21%
宮崎県	120	9	8%
鹿児島県	330	36	11%
沖縄県	50	11	22%
未回答		2566	